

第29回 富士山への手紙・絵コンクール受賞作品

手紙部門 最優秀賞

小学生低学年の部

富士宮市立東小学校
田中護さん

ふじさん、やまのぼりされているとき、どんなきもちですか？ふん、ひとのあしがかるくあるいたぶんが、くすぐったいんじゃないかなかんじもするかもね。それともへいかな。たんじょうびは、いつですか？ぼくは、はるだとおもう。さくらがきれいでおいわいしているみたいだから。うえからみたら、さくらのきが「おめでとう」にみえたりして。ふじさん、つぎのはるは、いっしょにのんびわいしようね。



絵部門 最優秀賞



幼児の部

「これからすむところ」
21世紀アートスタジオ
奥田碧人さん



小学生低学年の部

「わおー！こわいけど
たのしいふじ山りよう」
だれでもアーティストクラブ
永井陽基さん



小学生高学年の部

「暁の富士山」
富士宮市立富士根南小学校
小尾海翔さん



中学生の部

「荘厳な富士」
富士市立富士中学校
千須和建伍さん



高校生・成人の部

「THIS IS 富士山」
富士市
石川邦彦さん

中学生の部

富士宮市立富士宮第四中学校 三ツ谷悠士さん

私の父は、富士山で山岳遭難救助隊の仕事をしている。父は警察官で、普段は交番で仕事をしているが、富士山や周辺の手でけが人等の救助要請があると、警察官の制服から登山をする服に着替えて救助に出発する。自宅から見る富士山は雄大で全く想像できないが、富士山に登り、疲労や天候が原因で、毎年多くの救助要請があるそうだ。私も一度富士登山に挑戦したことがあるが、登り始めは快晴だったのに、途中でいきなり大雨になり、山頂をさきさき下山した。山の天気がとても不安定だということを、身をもって知ったのだ。山で遭難があり、救助のために隊員が足りないと、父は休日を返上して、家族に申し訳なさそうにしながら、救助に向かうことがある。悪天候の中の救助から帰って来た父は、すごく疲れた顔をしているが、無事に帰ってきてくれるだけで、毎回私はホッとしている。富士山、これからも救助に出動する父の安全を、私と一緒に見守っていて。

高校生・成人の部

東京都八王子市 大塚遥香さん

15年以上前の春の日。静岡へ向かう新幹線の中で、私は富士山を泣きながら眺みつけていました。大学進学に伴い親元を離れて静岡で一人暮らしをするようになったのですが、当時は楽しみよりも寂しさの方が勝っていました。そんな私にとって富士山はいわば寂しさの象徴だったでしょう。対して、富士山はいつも泰然として常にそこにありました。朝、玄関のドアを開けると遠くに見える頂。最初は憎らしいとさえ思っていました。いつの間にか、当たり前の風景になりました。そして15年後の春の日。静岡を離れる日。ドアを開けると目に飛び込んできたのはいつもと変わらぬ富士山の姿。新幹線の中で小さくなってゆく富士山を見て、やっと気づいたのでした。15年の間で、いつしか寂しさの象徴から、なくてはならない存在になっていたのだと。

あなたの心を富士山へ・・・

第30回 富士山への手紙・絵コンクール

作品
募集

富士山に学んだこと
富士山と共に生きること
富士山と地域を愛すること
そして、美しい富士山を
いつまでも
残しておくために



募集期間

令和7年7月1日(火)～9月8日(月)

第29回 富士山への手紙・絵コンクール受賞作品 選評

富士山への多彩な思い 手紙部門 審査員長 村松 友視



今回は、全体的に書きたいことに対する好ましい角度の作品が多く、選考会はスムーズに進行すると予想しましたが、議論の中で細部に分け入ると、簡単には決められぬ問題が発見されてゆき、スリルにみちたと言えば大袈裟ですが、それに近い雰囲気を楽しみました。

小学生低学年の部最優秀賞は一年生の田中護君の作品。富士山を自分の親しい友だちに見立て、山登りをされているときの気持ちをたずね、くすぐったい？ いたい？ それともへいき？ 誕生日はいつ？ はるでいい？ さくらのきが咲く次のはるは一緒においわいしようね……友だちであるふじさんに次々と言葉を投げかけるスピード感に、小学生らしい友情感があふれていました。

小学生高学年の部最優秀賞は五年生の瀧田理一君の作品。ついに剣が峰まで登った満足感と、穏やかに見える富士山の怖さが神社で押してもらった焼き印の価値に強くかさなった。小屋からテニスボールくらいの小さな花火を見おろし、富士山にも一度くらい大きな花火を見せてあげたいなと思ってながめる心根。来年はお鉢回りをし、山頂の郵便局からみんなに手紙を出すことを自分に約束し、富士山またね……とハートマークを向ける心のはずみが伝わってきて、高学年らしいいくつかの気持ちのかさなりが表現されていました。

中学生の部は一年生の三ツ谷悠士君の作品。山岳救助隊の仕事をする父を尊敬し気づかい心配しながら見守る気持ちが強く伝わってくる。休日を返上した仕事から帰る父の家族への「申し訳なさそうな表情、を見逃さない、みずみずしく鋭い感性を強く感じさせられました。

高校生・成人の部は大塚遥香さんの作品。富士山の見える静岡の大学へ進学したものの、親元を離れた時間の寂しさの象徴として憎らしくさえ感じていた富士山が、いつの間にか「当たり前の風景」になっていき、十五年後に静岡を離れる日になって、自分にとってなくてはならない存在になっていたという気づきをかみしめる。時の経過の価値をも伝えてくれる、大人らしい作品でした。

絵部門 副審査員長 村上 雅洋

今回、歴史ある富士山への手紙・絵コンクールの絵部門の審査を初めて担当させていただきました。

昨年に比べ、出品数は全体で百点余り増加（海外からの出品は二百点以上増加）し、富士山世界遺産登録が十年を超え、富士山への関心のより一層の高まりを感じました。来年は三十回目の節目を迎え、さらに力作が期待されます。

幼児、小学生低学年の部などでは、自分の体験や、擬人化された富士山などが自由に描かれ、学年があがるにつれて体験が広がり観察眼が深まるように感じました。また中学生の部、高校生・成人の部では卓越した筆さばきに感心させられました。最優秀作品について私なりに感想を述べてみます。

幼児の部 おくだあおとさんの『これからすむところ』は画面やや左に富士山を大きくとらえ、空には太陽、これから住む麓にはたくさんの花々を描いています。自由な形やカラフルな色彩が画面にリズム感を与え、躍動感をもって響いてきます。

小学生低学年の部 ながいはるきさんの『わおー！こわいけどたのしいふじ山りよう』は夏休みに家族でサファリパークへ行った時の家族旅行の思い出を描いた作品と思われます。自動車の周りを堂々と歩き回るたくさんの動物が大きく描かれ、驚いたり喜んだりした自身の感動が画面いっぱいに広がっています。

小学生高学年の部 小尾海翔さんの『暁の富士山』は夜明け前の情景を描いたもの。オレンジ、青、白、黄土色の色面で画面を区切り、富士山や麓を平面化し、対照的に紫色の雲をうねるように表現し、画面をいきいきと感じさせます。

中学生の部 千須和建伍さんの『荘厳な富士』は、たて構図で富士山の中腹までを描き、富士山の荘厳さ、迫力を表現しています。朱色の空も効果的です。大沢崩れをはじめとする野溪、荒々しい岩肌など、鋭い観察眼で丁寧に描ききっています。

高校生・成人の部 石川邦彦さんの『THIS IS 富士』は象徴的な富士山麓の風景を描いた秀作。青空と富士の雪、紅葉したカラ松などがアクセントとなっています。一方モノクロで描かれた画面下半分には、ねじれ、横たわった朽ちかけた木が大きく描かれ、穏やかな風景描写の中に、富士山の自然の厳しさを暗示しているように思います。

【主 催】富士山への手紙・絵コンクール実行委員会（富士宮市、富士宮市教育委員会、国土交通省富士砂防事務所、富士砂防ボランティア）
【協 賛】一般社団法人 中部地域づくり協会、日本郵便（株）東駿河地区連絡会
【後 援】静岡県、静岡県教育委員会、日本郵便（株）東海支社、NHK静岡放送局、静岡新聞社・静岡放送、テレビ静岡、（順不同）静岡朝日テレビ、静岡第一テレビ、朝日新聞静岡総局、産経新聞静岡支局、中日新聞東海本社、毎日新聞静岡支局、読売新聞静岡支局、岳南朝日新聞社、富士ニュース社、富士山本宮浅間大社、富士山表富士宮口登山組合

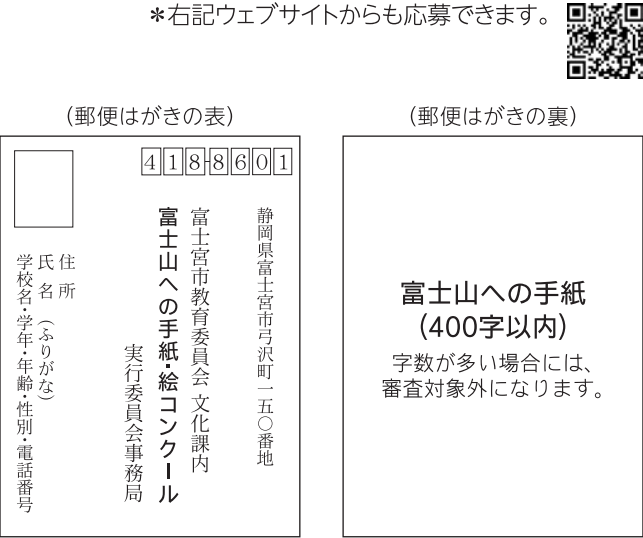


詳細は
こちらから

富士山への手紙・絵コンクールは、みなさんの富士山に対する思いや願いが、
美しい富士山と共に生きる、豊かな心を持った人と人々が暮らす
文化的“まちづくり”の輪に大きく広がっていくことを期待し開催しています。
あなたが見た富士山、思い出の富士山、夢に描く富士山へ・・・
言葉や絵にのせて、思いを伝えてみませんか？

手紙部門

- 1.募集部門 4つの部門に分けて募集します。
●小学生低学年の部 ●小学生高学年の部
●中学生の部 ●高校生・成人の部
- 2.作品規格 *一人1点、未発表のものに限りです。
*郵便はがきまたは、応募用紙（A4サイズ）を使用してください。（400字以内）
*右記ウェブサイトからも応募できます。



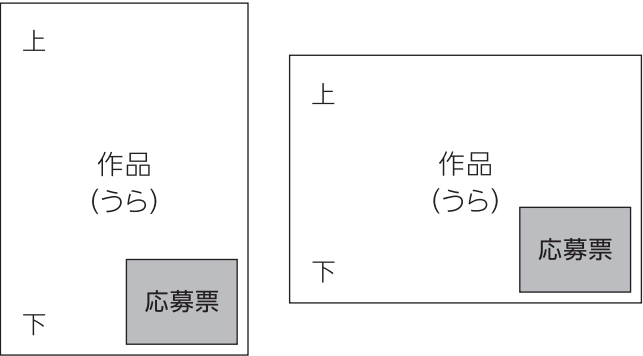
- 3.注意事項 *郵便はがきに住所、氏名、学校名、学年、年齢、電話番号を明記してください。
*氏名・学校名には、ふりがなをふってください。
*団体(学校等)で応募する場合は、応募リストを添付し、応募リストの順番に並べてご提出ください。

応募用紙・応募リスト

応募用紙・応募リスト(団体用)は、富士宮市トップページ→文化・スポーツ→文化・芸術→文化活動→富士山への手紙・絵コンクールからダウンロードいただけます。

絵部門

- 1.募集部門 5つの部門に分けて募集します。
●幼児の部
●小学生低学年の部 ●小学生高学年の部
●中学生の部 ●高校生・成人の部
- 2.作品規格 *一人1点、未発表のオリジナル作品に限りです。
*ポスターは不可。
*用紙は四つ切(54.0×38.0cm)を使用してください。キャンバスの場合は、F10号(53.0×45.5cm)以下を使用してください。
*額縁の使用はご遠慮願います。
- 3.注意事項 *作品の上下を確認し応募票を作品のうら面右下に、貼り付けてください。
*団体(学校等)で応募する場合は、応募リストを添付し、応募リストの順番に並べてご提出ください。



審査員

審査員長	村松友視(作家)
副審査員長	村上雅洋(画家)、富士宮市教育長、富士砂防事務所長
上席審査員	元富士宮市立小学校長、元社会教育指導員
審査員	富士宮市小・中学校教員(国語、図工、美術) 富士宮市退職校長親和会員

入賞

各部門 最優秀賞1点、優秀賞3点、
海外賞3点(絵部門のみ)、佳作20点以内

発表

11月下旬に富士宮市ウェブサイト等にて入賞者を発表する予定です。
※氏名、団体(園・学校)名、所在市区町村名、学年を掲載しますのでご承知ください。
※入賞者には(団体応募の場合には団体宛に)文書にて通知します。

表彰式・展示等

- 1.表彰式等 最優秀賞、優秀賞を受賞された方は、令和8年1月30日(金)に安藤記念ホールにて表彰式を行う予定です。
- 2.展示 令和8年1月28日(水)～2月1日(日)まで9時から21時 富士宮市総合福祉会館 1階ふれあいロビー
- 3.冊子の発行 入賞作品は冊子にして入賞者に贈呈いたします。

応募先・問い合わせ

〒418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150番地 富士宮市教育委員会 文化課内
「富士山への手紙・絵コンクール実行委員会」事務局
☎(0544) 22-1106

作品使用について

作品の著作権は、応募締め切りから1年間主催者に帰属します。入賞作品は、富士宮市が作成する資料等に使用させていただくことがあります。(使用例：ラッピングバス、冊子の表紙等)

作品の返却

- 1.手紙部門 手紙部門の作品は返却いたしません。
- 2.絵部門 作品の返却を希望される方は、応募票にその旨お知らせください。
返却希望作品は、展示後から令和8年3月19日(木)までの期間内で富士宮市役所6階文化課にて返却します。(期間後の対応はできませんのでご承知ください)事前に事務局まで電話連絡をお願いします。また、郵送を希望される場合は、自費負担(着払い)となります。

募集期間

期間内必着

令和7年7月1日🔥～9月8日🌕

-----キ-リ-ト-リ-----

四すみをのり付けして作品のうら面右下に貼り付けてください

第30回「富士山への手紙・絵コンクール」 絵部門 応募票			※この欄は記入しないでください	
校名・園名 団体名				
ふりがな		学年	()	年
氏名		年齢	()	歳
絵のタイトル				

▼個人応募の方は御記入ください

住所	〒			
電話番号				
部門	〈幼児の部〉 〈中学生の部〉	〈小学生低学年の部〉 〈高校生・成人の部〉	〈小学生高学年の部〉	
返却希望	なし ・ 直接受け取り ・ 郵送(着払い)			